

RUSSIAN T-62A TANK



TAMIYA
静岡市恩田原3-7 〒422

1/35 MILITARY MINIATURE SERIES NO.108

ソビエト・T-62A戦車



1956年10月、ハンガリー動乱に初めて投入されたT54戦車は、100mm砲という欧米の第一線戦車を上回る強力な武装と、ソ連戦車伝統の避弾性を徹底的に追求した低く、なめらかな車体デザイン、そしてすぐれた機動力によっていちやく脚光を浴びることになりました。しかし、アメリカのM60や西ドイツのレオパルド、フランスのAMX30、イギリスのチーフテンなど、その後各国で開発された新型戦車が登場するようになり、T54そして改良型であるT55の優位性は、次第に失われていくことになったのです。

1965年5月9日、モスクワ・赤の広場で行なわれた「対ドイツ戦勝20周年祝典パレード」で、T62戦車が初めて公式に姿を見せたのは、ちょうどそうした時期でした。それは西側の新型戦車に対するソビエトの自信あふれる回答だったと言えるでしょう。それから8年後、1973年10月の第4次中東戦争でイスラエル軍はかなりの数のアラブ側のT62戦車を捕獲、そのうちの10台前後がアメリカに送られて徹底的にテストされ、それまで秘密のベールにつつまれていたT62戦車の全貌が明らかにされることになったのです。

T62戦車は、外形的にも機構的にもT54/55と類似した部分が多いのですが、世界に先がけて主砲に115mm滑腔砲を採用したことが大きな特徴となっています。通常の戦車砲は、砲身内側にネジのようなライフル（ねじれみぞ）を切っており、これによって砲弾に回転を与えて飛行中の姿勢を安定させています。滑腔砲はこのライフルがなく、砲弾が折りたたみ式の安定翼を持ち、砲口を出ると安定翼が開いて飛行姿勢を安定させることとなります。滑腔砲の長所としては、砲身の生産コストが低く、寿命も長い。成型炸薬弾の効果を十分に発揮させられる。徹甲弾の場合にも大初速が得やすく、飛行中の速度低下が少ないことから貫徹力が大きくなり、有効射程距離

も増すなどがあります。反面、短所としては砲弾の構造が複雑になり、また高い精度も要求されることから砲弾のコストが上がる。命中精度に工作精度や風などの影響が出やすいなどがあります。

当時、欧米戦車の主砲は105mmライフル砲が主流であり、滑腔砲とライフル砲の優劣が検討されている状態だっただけに、T62の滑腔砲装備は注目を集めることになりました。T62の115mm滑腔砲U5-TS(2A-20)は、APDSFS(翼安定式装弾筒付徹甲弾)を使った場合、初速1680m/秒、射程2000mで直角に命中した場合、実に270mmの装甲板を撃ち抜く威力を持つと言われます。ただし射撃統制装置に欧米戦車のような精巧なものを使っていないこともあって1500m以上の射程では多少精度は落ちるようです。使用砲弾は装弾筒付徹甲弾、対戦車榴弾、榴弾の3種類で40発を携行、もちろんどれも翼安定式となっています。主砲関係でもう1つの特徴は、射撃後、空になった薬莢を自動的に排出するエジェクターを装備していることです。しかし射撃速度は米軍テストの結果では1分間に4発と欧米戦車の水準よりは低くなっています。これは主砲の装填角度が限られていること、避弾性を重視した砲塔デザインにより、車内がせまいことが原因と考えられます。また、これと関連して主砲の俯角が-4°と小さいことも戦術面の不利に結びつくとされています。

副武装としては主砲同軸機銃がありますがこれはT62型では7.62mm、T62A型になって14.5mm機銃が採用されたと言われてます。またT62A型には対空用に12.7mm DShK機銃が装備され、この対空機銃とガンナーズハッチがキューボラ形式とされたのがT62Aの外見上の識別点となっています。

T62およびT62Aのエンジンは、出力700馬力のV2-62・水冷V12気筒ディーゼルと

いうのが定説となっていました。しかし米軍でテストされたT62には、T55と同じ580馬力のV2-55型が搭載されており、自国用と輸出用ではエンジンが違うことも考えられますが詳細は明らかにされていません。

足まわりは、T55とほぼ同様で、サスペンションにはトーションバースプリングを採用、また転輪は、上部転輪なしの大径転輪だけとされています。ただ車体重心の変化によるものか、T55では第1、第2転輪間の間隔が広がったものが、T62では第3、第4、および第5転輪の間隔が広がっているのが特徴です。

潜水渡河装置、発煙装置、対CBR防護装置など、T62は現代戦車に不可欠とされる装備をすべて備えていることは言うまでもありません。潜水渡河装置は、取り付けにこそ約8時間の時間が必要とされますが、上陸後90秒という短時間で初弾の発射が可能とされています。また発煙装置は、欧米流の発煙弾ではなく、エンジンマニフォールドに燃料のディーゼル油を直接噴射して排気管から白煙を出すソ連戦車独特の方式で、250~400mの煙幕を張る能力を持っています。対CBR防護装置は、主に核兵器を対象としたものでガンナー線センサーと空気浄化装置から成り、センサーが汚染を検知すると浄化装置を通った空気がブLOWERで送り込まれて車内を圧入し、汚染外気の侵入を防ぐこととなります。

そのほか赤外線暗視装置、被弾による発火を検知して自動的に作動する消火装置など、攻撃、防禦の両面に充実した装備を誇っています。しかしT62戦車の最大の特色は、やはり世界に先がけて滑腔砲を装備したことにつきますでしょう。ソ連はT62に続くT72に同種の125mm砲を装備、西ドイツもレオパルドIIでは120mm滑腔砲を採用。これら新世代の滑腔砲戦車の先駆者として、戦車史上、T62戦車の存在は重要なものと言えます。



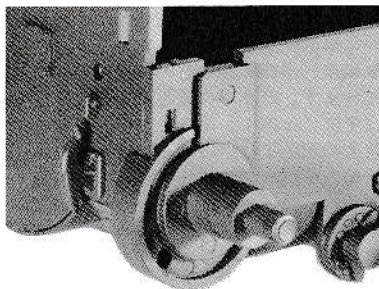
★お買い求めの際、または組み立ての前には必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組み立てを始めた後は、製品の返品、交換などに応じかねます。

★タミヤからはピン入りの接着剤タミヤセメントが別売されております。モデルをきれいに仕上げるタミヤセメントをお使い下さい。

●これは塗装指示のマークです。全体の塗装についてはP7,8のペインティングページを参考して下さい。各部の塗装色名はすべてタミヤカラーの色名で指示されています。色の正確なタミヤのカラーをご使用下さい。またボディの塗装には簡単に塗れて、すばらしい仕上りのスプレー式タミヤカラーが便利です。

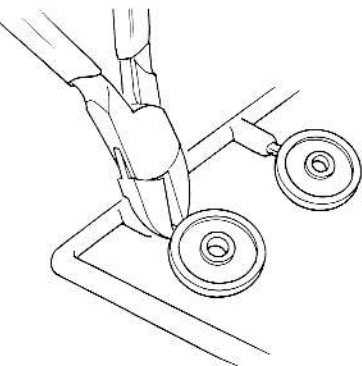
★塗料は必ずプラスチックモデル用をお使い下さい。

2 〈車体下部後側のくみたち〉 〈A13と取り付け写真〉



〈部品を切りはなす〉

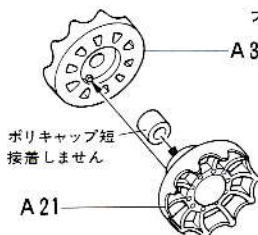
各部品は指でもぎとらずにニッパーやナイフで切りはなします。切り口はナイフできれいに仕上げます。



1 ホイールのくみたち

〈アイドラーホイール〉

★2個作ります

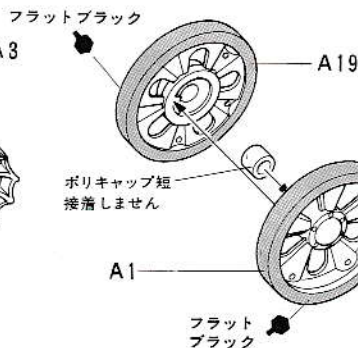


ポリキャップ短
接着しません

A21

〈ロードホイール〉

★10組作ります



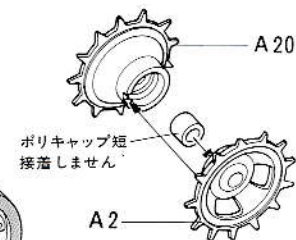
ポリキャップ短
接着しません

A1

フラット
ブラック

〈ドライブスプロケット〉

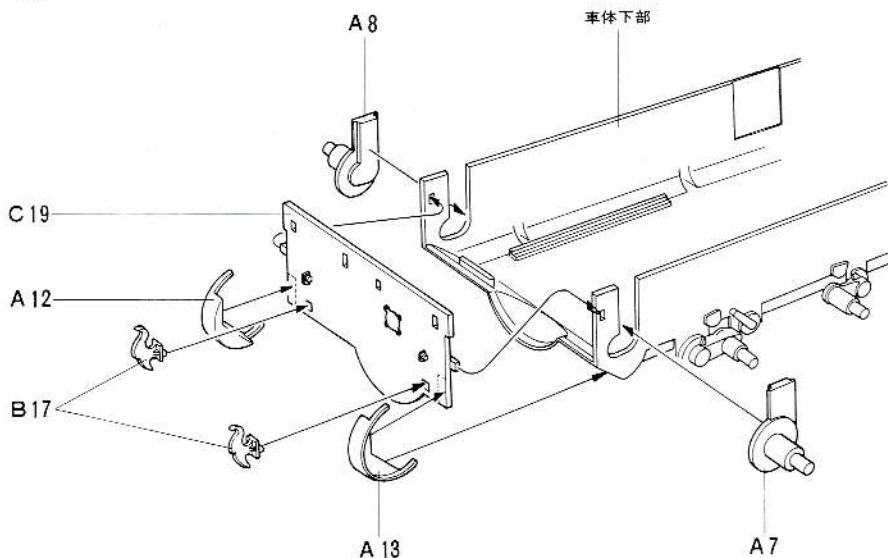
★2個作ります



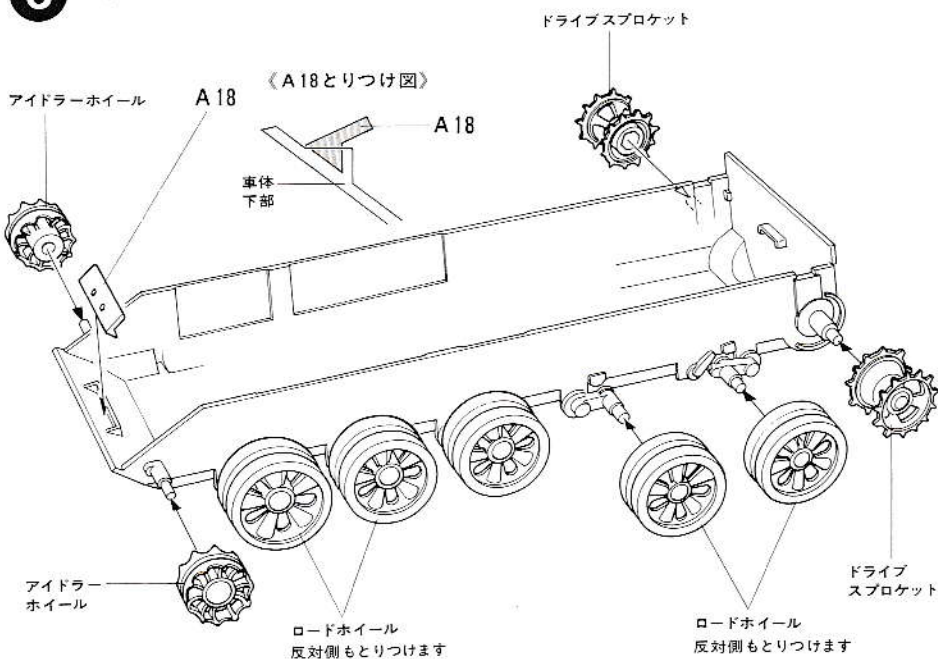
ポリキャップ短
接着しません

A2

2 車体下部後側のくみたち



3 ホイールのとりつけ



アイドラーホイール A18

〈A18と取り付け図〉

ドライブスプロケット

車体
下部

A18

アイドラー
ホイール

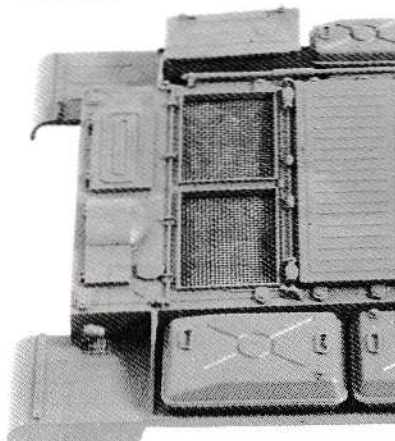
ロードホイール
反対側もとります

ロードホイール
反対側もとります

ドライブ
スプロケット

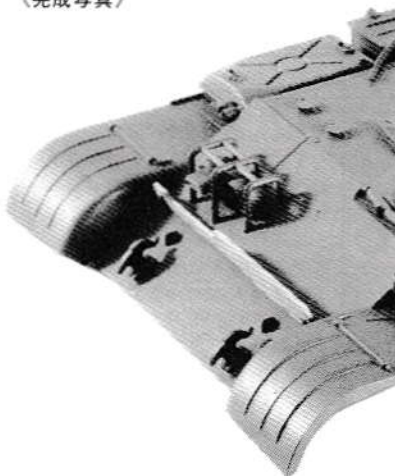
- 4** 〈車体上部裏側のくみため〉
 ドライバーズハッチB26は接着せず
 にポリキャップ短で止めます。
 部品C22は金アミをはさんでしっ
 かり接着して下さい。

〈完成写真〉



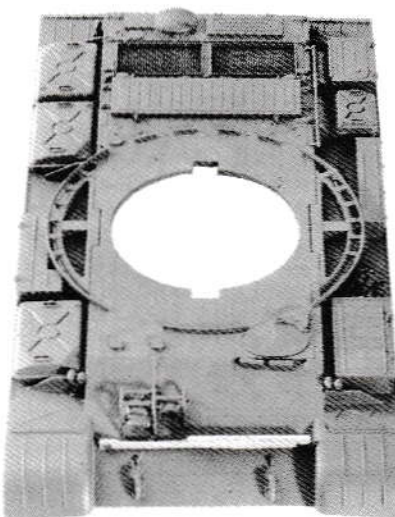
- 5** 〈車体上部前側のくみため〉

〈完成写真〉

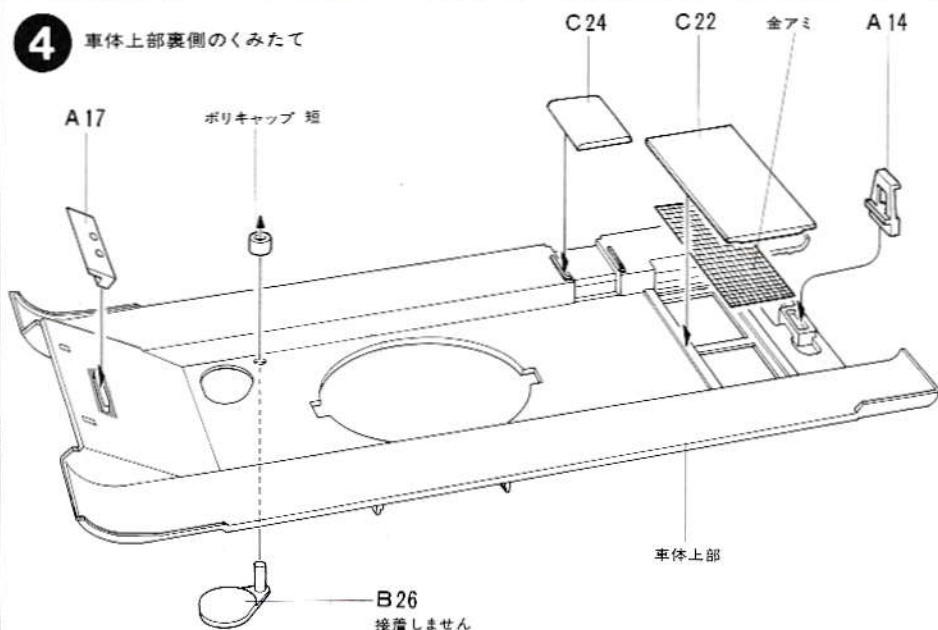


- 6** 〈車体上部のくみためA〉

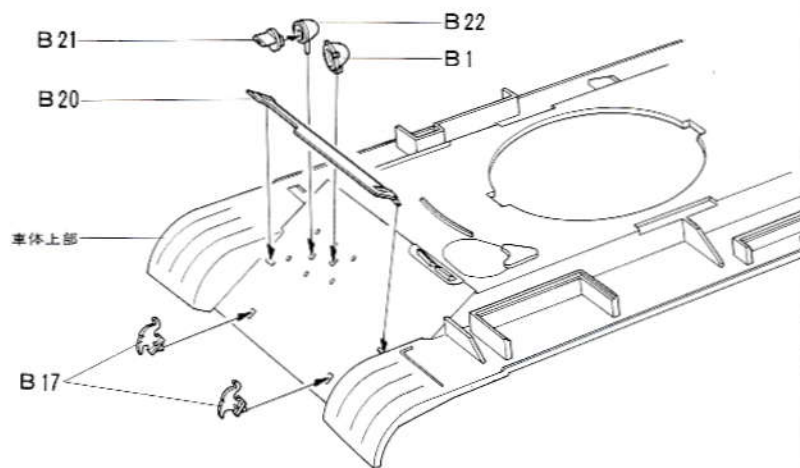
〈完成写真〉



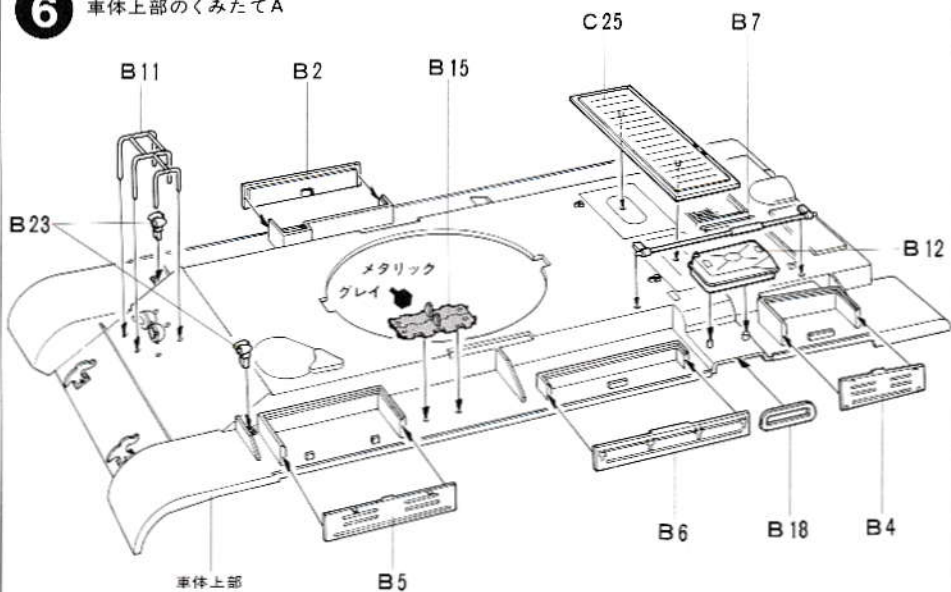
- 4** 車体上部裏側のくみため



- 5** 車体上部前側のくみため

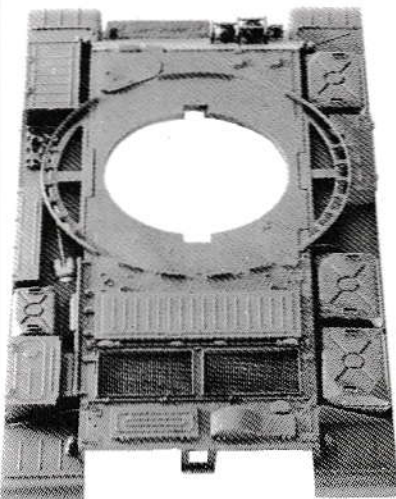


- 6** 車体上部のくみためA

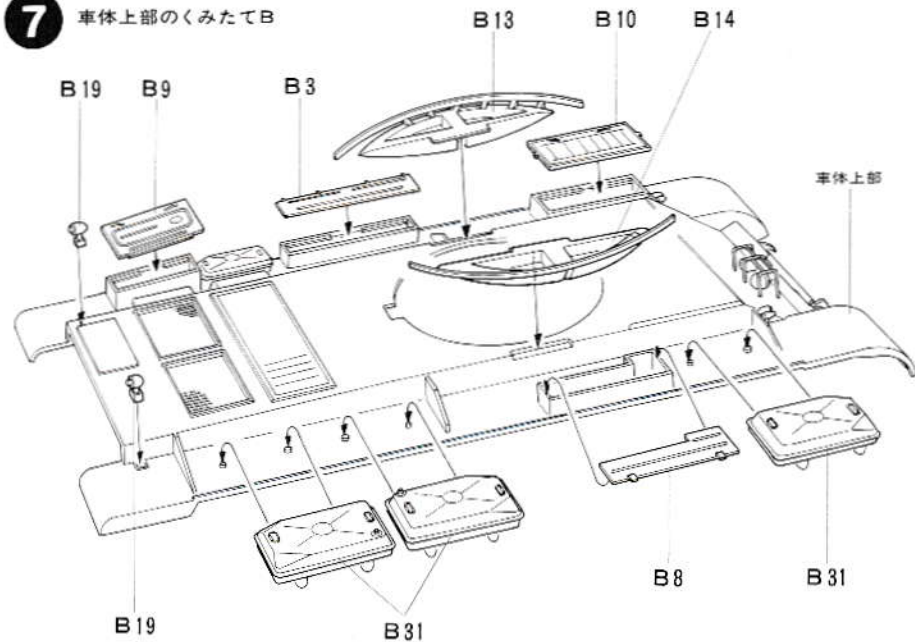


7 〈車体上部のくみため〉

〈完成写真〉

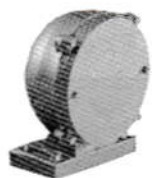


7 車体上部のくみためB



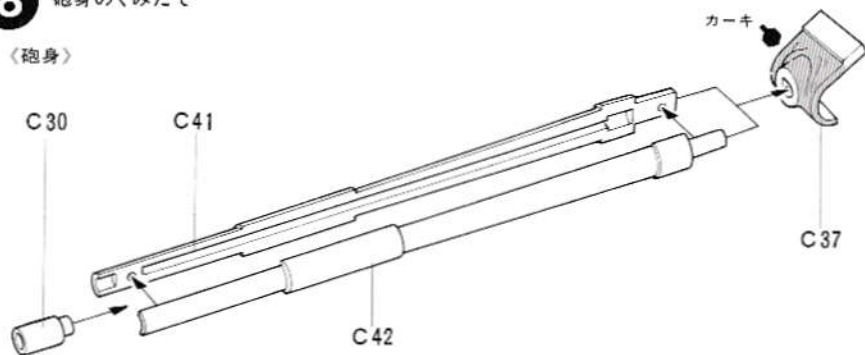
8 〈砲身のくみため〉

〈メインサーチライト完成写真〉



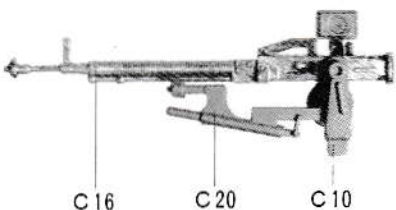
8 砲身のくみため

〈砲身〉

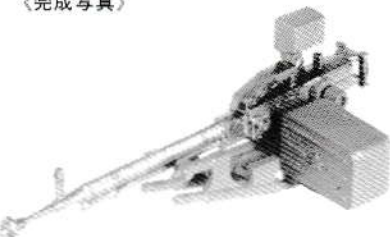


9 〈12.7mm機銃のくみため〉

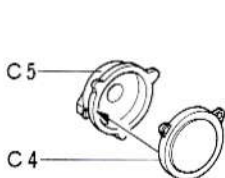
〈C20、C10とりつけ写真〉



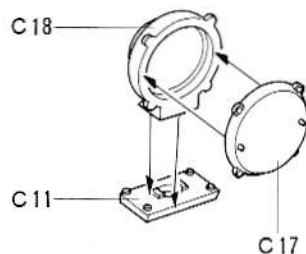
〈完成写真〉



〈コマンドーズサーチライト〉



〈メインサーチライト〉

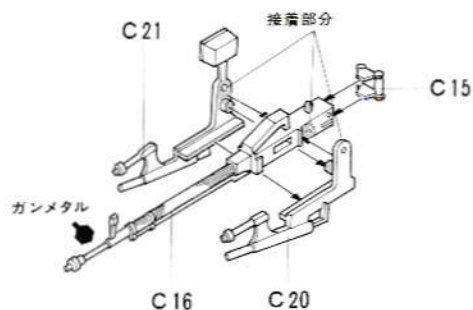


〈コマンドーズハッチ〉

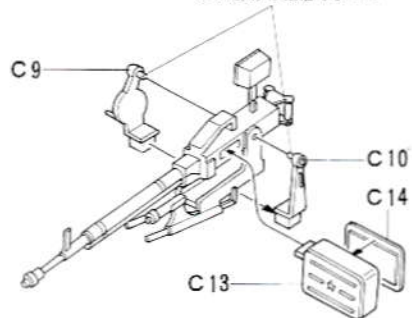


9 12.7mm機銃のくみため

★左上の写真を参考にくみためして下さい。

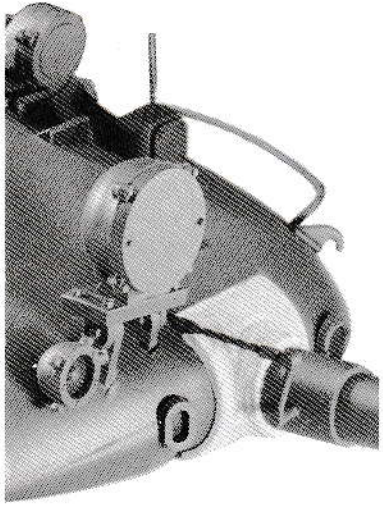


この部分は擦傷しません

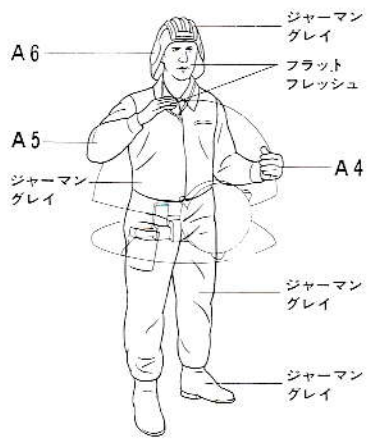


10 《砲塔のくみため》
ローダーズハッチC38は可動です。
接着せずにC39にとりつけます。

《完成写真》



《人形のくみためと塗装》
人形のうではくみため⑩でコマンドー
ズハッチに合わせてとりつけます。



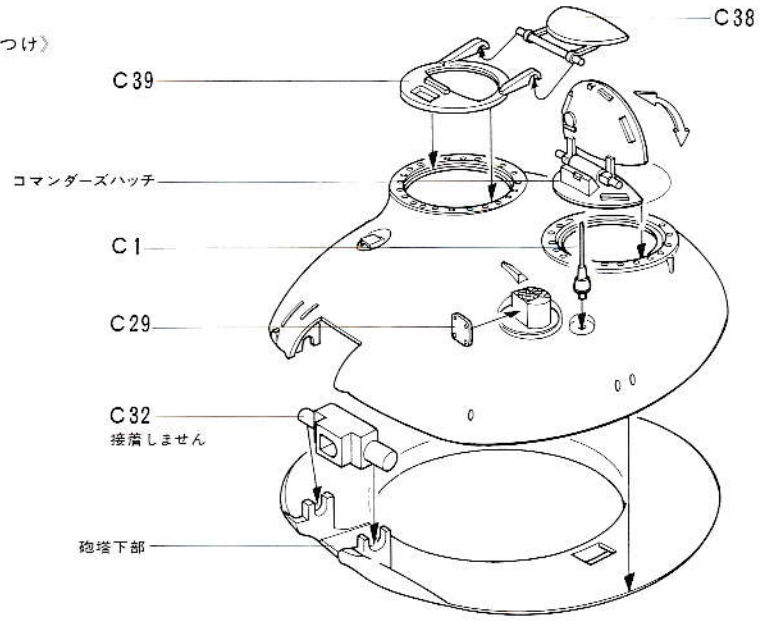
《手すりC26のとりつけ》



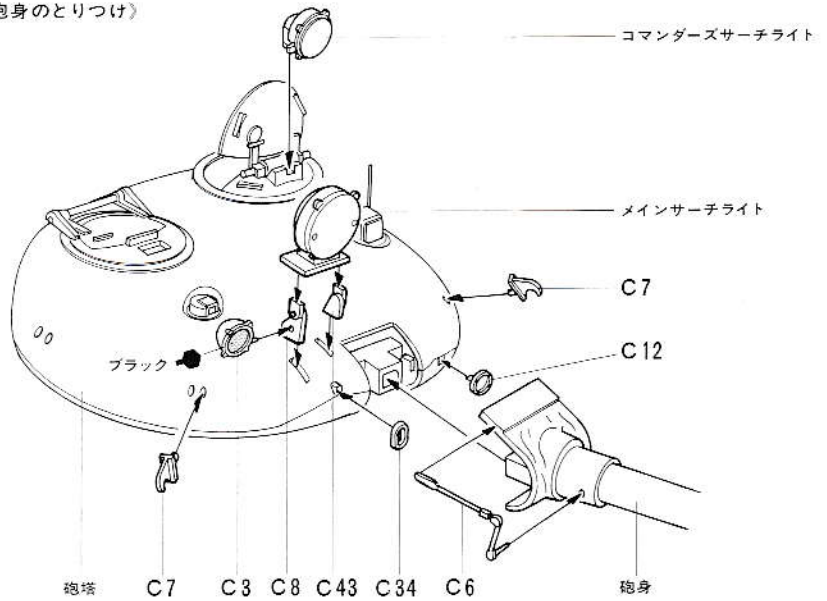
タミヤの総合カタログ
タミヤの全製品を詳しく解説した総合カタログは年
に1回発行。ご希望の方は模型店でおたずね下さい。

10 砲塔のくみため

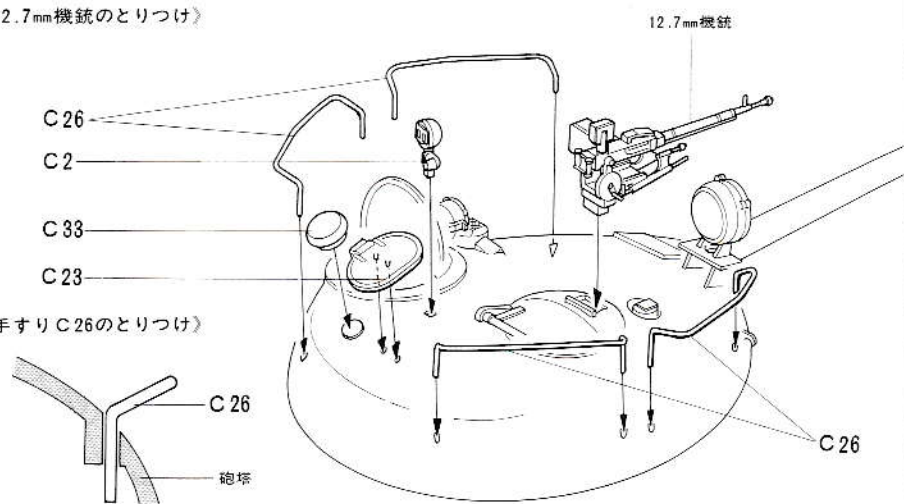
《ハッチのとりつけ》



《砲身のとりつけ》

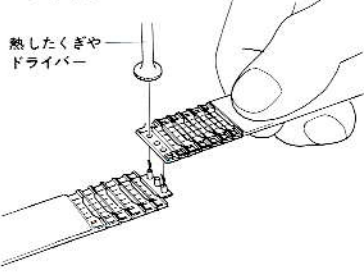


《12.7mm機銃のとりつけ》

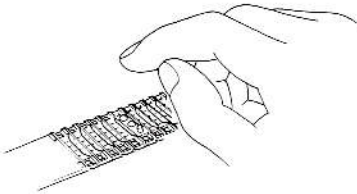


《キャタピラのくみため》

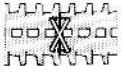
★キャタピラを連結し、熱したくぎやドライバーを使ってピンの頭を焼きつぶします。



★②すぐに指でピンを押しつぶしキャタピラを連結させます。



★キャタピラが切れたり焼止めが弱かった場合には図の様に、黒糸がホッチキスで補強して下さい。



《シュノーケルパイプのとりつけ写真》



車体上部
後側からはめます

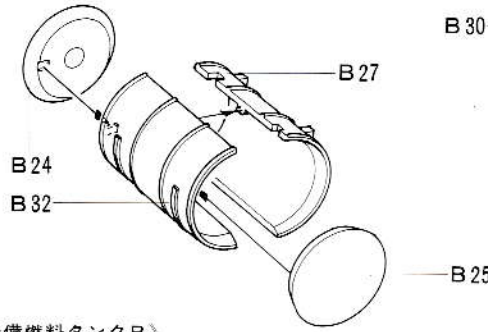
レッドブラウン ● B16

予備燃料タンク A

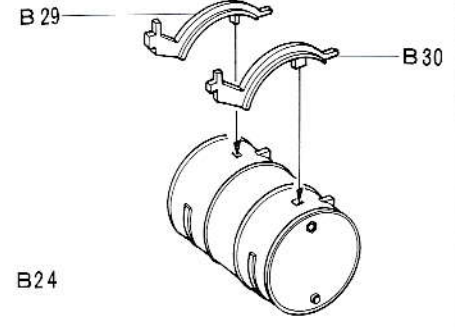
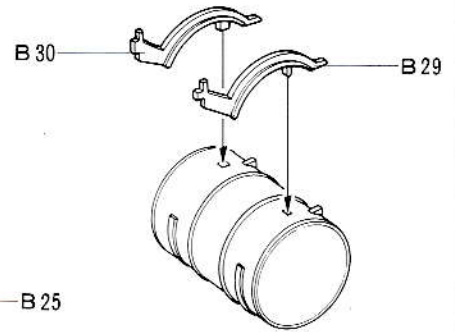
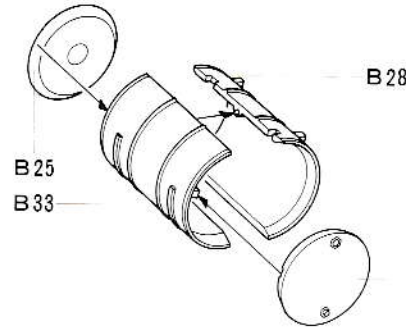
予備燃料タンク B

11 予備燃料タンクのくみため

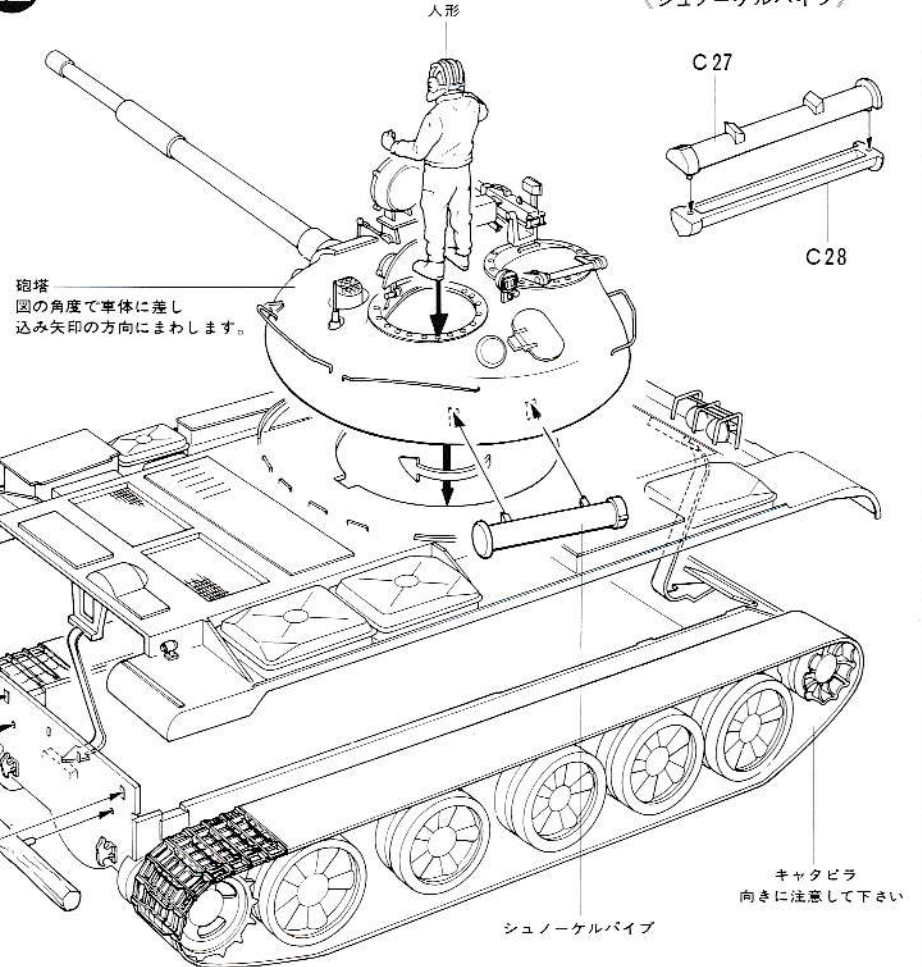
《予備燃料タンク A》



《予備燃料タンク B》



12 T 62の完成





APPLYING DECALS

〈T62の塗装〉

ソ連戦車の標準塗装は全面吹付け塗装によるダークグリーンの一色です。T62もその例にもれずダークグリーン一色で塗られています。迷彩塗装はほとんど見られません。

〈塗装用具〉

筆、小皿、ボロ布を用意して下さい。筆はデザイン用の平筆と細筆を用意し、共に毛質がやわらかく、筆分れしていないものを使います。塗料を溶かすにはセットモノの小皿がよいでしょう。塗装が終わったら筆や皿はラッカーシンナーでよく洗い、ボロ布でよくふきとって下さい。



細筆

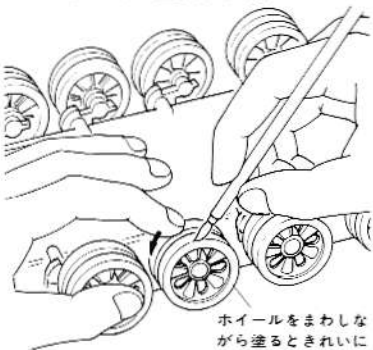
平筆

〈塗料と溶剤〉

全体の塗装にはスプレー式タミヤカラーが使いやすく、きれいに仕上げられます。細部塗装には筆塗り用タミヤカラーが便利です。塗料は必ずプラスチックモデル用を使い、その使用方法をよく読んでから塗装を楽しんで下さい。

〈塗装〉

T62は組み立ててからタミヤカラーで全体を塗りますが、車体と砲塔に分けて塗装するとよいでしょう。タミヤカラーは横にすばやく動かしながら吹きつけます。一度で塗ろうとはせず、うすく2度塗りして下さい。タミヤカラーが完全に乾いてから細部の塗装に入ります。ホイールのゴム部は下図のように塗装します。



ホイールをまわしながら塗るときれいに塗れます

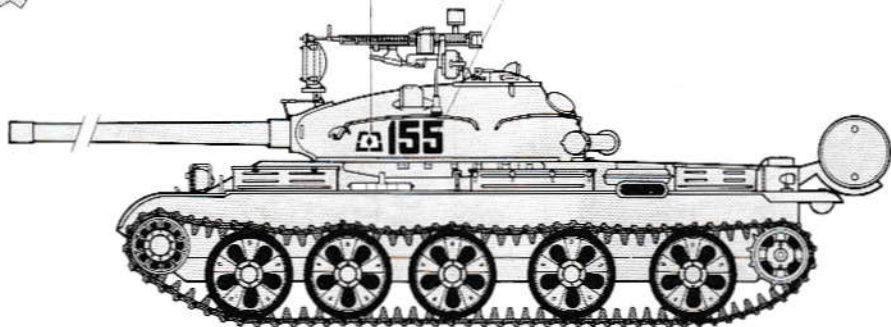
〈よごし塗装〉

より軍用車輛らしい感じを出すため、よごしをする方法があります。よごれかたは土地や季節などによって変わってきます。よごしかたは、筆につけた塗料を不用な紙で、一度落してから模型にこすりつける方法や、溶剤でうすめた塗料を流し込むような方法など自分なりに研究使い分けると良いでしょう。

〈マーク例-1〉

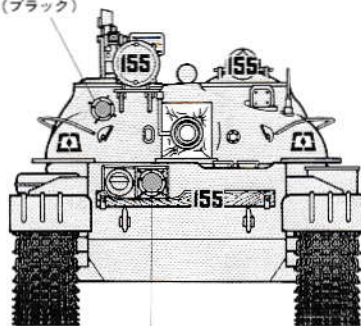
ダークグリーン

所属マーク ★ ◀ ▶ ⊙ 車輛番号

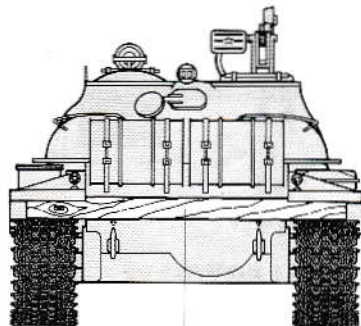


(フラットブラック)

(ブラック)

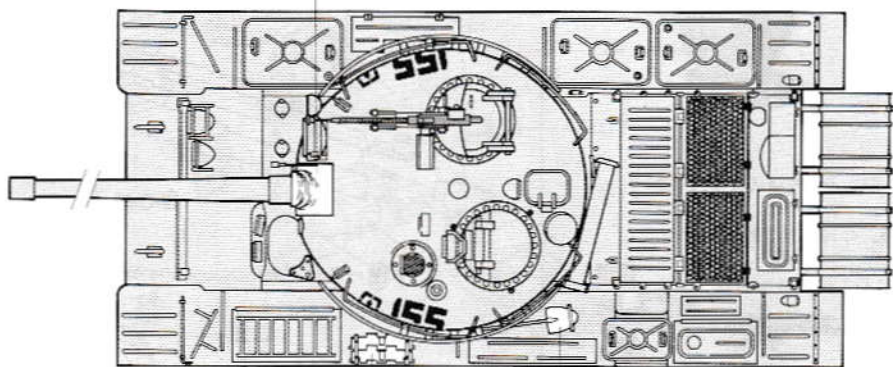


(ブラック)



(レッドブラウン)

(カーキ)



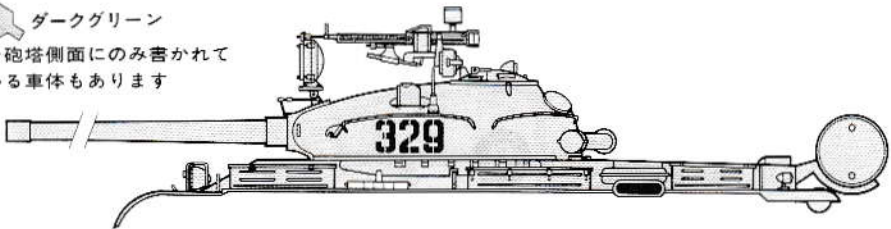
(メタリックグレイ)

(メタリックグレイ)

〈マーク例-2〉

ダークグリーン

★砲塔側面にのみ書かれている車体もあります

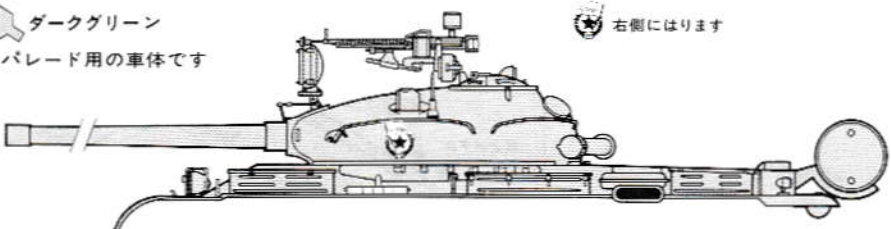


〈マーク例-3〉

ダークグリーン

★バレード用の車体です

★ 右側にはります



PAINTING

〈塗装参考例〉

右の塗装例はイスラエルに捕獲されたシリア軍のT62戦車でダークグリーン、の地にダークイエローの迷彩がほどこされています。またマーク類はすべて消されています。

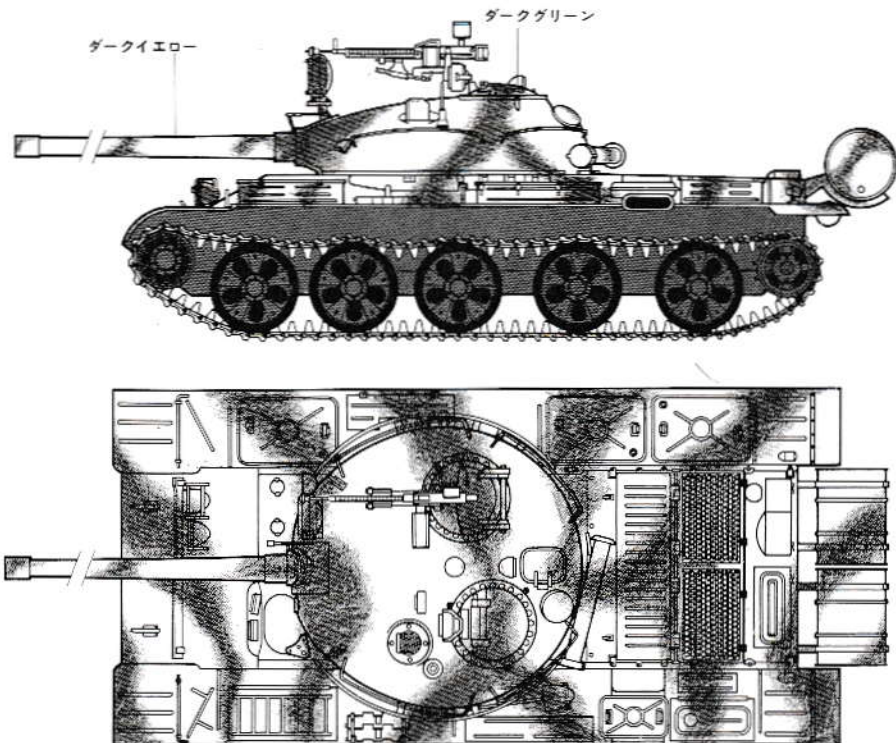
〈使用する塗料〉

タミヤカラー（スプレー式）より
ダークグリーン……………TS- 2

バクトラタミヤ（筆塗り用）より

フラットブラック……………XF- 1
フラットフレッシュ……………XF-15
メトリックグレイ……………XF-56
ダークグリーン……………XF-61
ジャーマングレイ……………XF-63
レッドブラウン……………XF-64
ブラック……………X- 1
ガンメタル……………X- 10

〈塗装参考例〉



TAMIYA COLOR

タミヤカラー（エナメル塗料）

筆塗り塗装にぴったり。のびがよく萎ムラ、泡立ちもほとんどなし。つやの良さもエナメル塗料ならではの、もちろんスプレー塗装もOK。

TAMIYA COLOR

タミヤカラー（スプレー式）

美しい塗装が手軽に楽しめるスプレータイプの塗料です。ミリタリーモデル用、カーモデル用、一般工作用がそろっています。

TAMIYA PUTTY

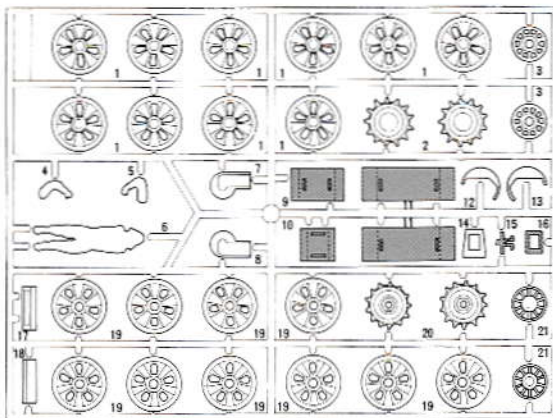
タミヤパテ

プラスチックモデルの修正、改造など、すき間や穴うめにご使用下さい。乾燥後も肉やセグが少なく、みがきによってなめらかに仕上がります。

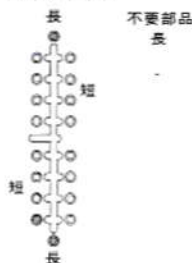
★部品請求にはこのカードが必要です。
部品請求をなさる方はあなたの氏名、住所、郵便番号（できれば電話番号）を1字づつはつきりとお書き下さい。

A

不要部品
9、10、11
15、16

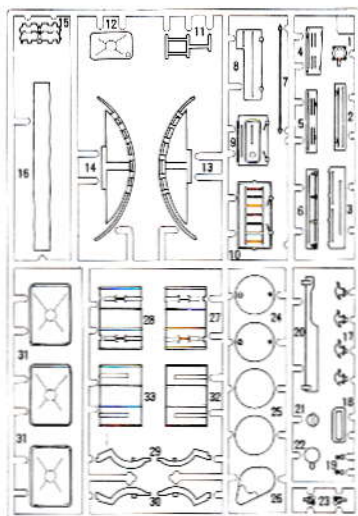


ポリキャップ

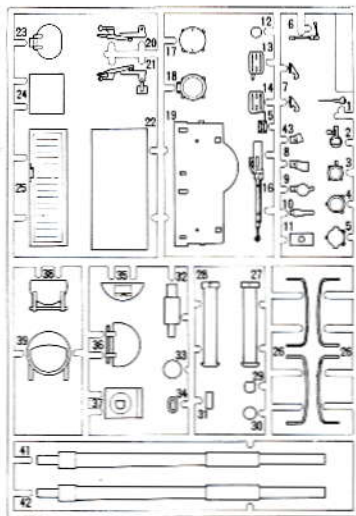


★砲塔上部……………1個
砲塔下部……………1個
車体上部……………1個
車体下部……………1個
キャタピラ……………2本

B



C



RUSSIAN T-62A TANK

1/35 ミリタリーミニチュアシリーズ
部品を紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸でかこみ代金を現金書留又は定期為替で田宮模型アフターサービス係までお申し込み下さい。

お問合せ電話番号 054-283-0003(静岡)

A 部品……………420円
B 部品……………420円
C 部品……………420円
砲塔上下部……………370円
車体上部……………370円
車体下部……………370円
ポリキャップ……………170円
金網……………170円
キャタピラ……………220円
マーク……………170円
説明図……………220円

0595

★ ITEM 35108

田宮模型
静岡市恵田原3-7 千422